

昭利 過

議会だより

第

38

号

平成18年7月25日 6月定例会



6月定例会で決めたこと.....	2
常任委員会のうごき.....	4
村の姿勢を問う 2名が一般質問.....	6
議会視察研修報告	10
聞きたい知りたいみんなの声	12

アメリカ・ホワイトマウンテン中学校の
生徒が来村（東小学校）

定例会

6月定例会

第24回定例会は、6月8日(木)から15日(木)までの8日間の会期で開催されました。報告1件、人事案件2件を含む議案8件、議員発議として「ずさんな米国産牛肉の輸入に抗議し、BSEの万全な対策を求める意見書提出について」が上程され、すべて原案のとおり承認・可決されました。最終日の一般質問では、2名が登壇し村の姿勢を問いました。

昭和の森ゴルフ場利用者道路横断用通路を取得

昭和の森ゴルフ場では、プレイヤーが村道永井中野線を横断する際に車により移送していましたが、利便性と長期的な人件費等を考慮してボックスカルバートを設置しました。指定管理者のグリーンスコレ(株)が設置したものを村が財産取得するため、議会の議決を求めたものです。

(全員賛成)



条例

昭和村税条例の一部を改正する条例

7月1日からの、たばこ税引き上げに伴う改正。

(全員賛成)

報告

土地開発公社財政状況報告

平成14年度から事業が休止となっているが現在も財産管理及び事務を行っていることから財政状況報告があり承認されました。

(承認)

その他

群馬県市町村会館管理組合の規約変更

市町村合併に伴う組合規約の変更。

(全員賛成)

補正予算

一般会計(第1号)

2,560万円追加

総額

35億860万円

〈補正の主な内容〉

・役場本庁舎改修工事及びアスベスト撤去・補修工事

・昭和の森ゴルフ場道路横断用通路(ボックスカルバート)の購入費

・貝野瀬区、赤城原区自治会への御輿助成金

・利根沼田ポンプ操法競技会で優勝した第7分団、第10分団の県ポンプ操法競技会出場経費

・昭和の森の施設利用料200万円と公有財産購入費1,000万円について補正説明願う。

〈主な質疑〉

問 昭和の森の施設利用料200万円と公有財産購入費1,000万円について補正説明願う。

答 昭和の森ゴルフ場道路横断用通路(ボックスカルバート)は、指定管理者であるグリーンスコレ(株)に企業努力によって整備していただいたものですが、同社が施設内に財産を持たないことを前提にしていることから、村が1,000万円で購入し、施設使用料として同社に5年間、毎年200万円ずつ納めてもらうものです。

問 役場玄関補修工事における役場利用者への配慮とアスベスト工事の詳細は。

答 玄関については雨漏りの工事である。庁舎屋上の防水シートの老朽化による雨漏りの補修工事と、議長室及び議会事務局室がアスベストの含有・飛散率が高いことから撤去するための工事を行うもの。

(全員賛成)

老人保健事業特別会計(第1号)

4,327万7千円追加

総額

8億2,580万7千円

平成17年度老人保健事業特別会計の精算に伴うもの。

(全員賛成)

農業集落排水事業特別会計(第1号)

394万2千円追加

総額

3億2,735万2千円

(全員賛成)

人事

昭和村固定資産評価審査委員
会委員に鈴木昭夫氏を再任



鈴木昭夫氏
(椽久保北部)

昭和村固定資産評価員に
林栄一氏(税務課長)を選任



内閣総理大臣ほか関係省庁に

意見書を提出しました

今年1月にアメリカから輸入された牛肉に脊柱が混入されてきた問題を受け、国民の食の安全を守るため、BSEへの万全な対策を求める意見書を国へ提出しました。

議員発議

「ずさんな米国産牛肉の輸入に抗議し、BSEの万全な対策を求める」意見書(抄)

米国産牛肉等は、検査体制や特定危険部位の除去、肉骨粉の飼料への使用などの飼料規制、生産・流通履歴が不明確であるなど、日本に比べてBSE対策は極めて不十分なままとなっています。

このような中で、輸入再開を拙速に決定した政府の責任は大変重いものがあります。私たちは米国産牛肉の拙速な輸入再々開を行わないことや、国民の食の安全を守るためBSEへの万全な対策を求めます。

平成18年6月15日
群馬県利根郡昭和村議会

臨時会

第23回臨時会が4月20日に招集され、総合福祉センターの利用料改定の議案1件、専決処分事項の承認4件、報告1件が上程され、すべて原案のとおり承認・可決されました。

福祉センターの利用料・利用時間改正

昭和村総合福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部改正

指定管理者制度への移行に伴い、6月1日からの利用料・利用時間を別表のとおりとする。また、開館時間を午前10時～午後8時まで(土・日・祝日は午後9時まで)に改正。(賛成多数)

区分	摘要	利用料	備考
村内	70歳以上の者 障害者手帳の交付を受けている者 4歳以上小学生以下の者	200円	ただし、4歳以上を 超えた場合には 1時間ごとに 200円を追加する。
	3歳以下	無料	
	一般(中学生以上70歳未満)	午前10時から午後6時までの入館者 午後6時以降の入館者	
村外	障害者手帳の交付を受けている者 小学生以下の者	400円	
	一般(中学生以上)	午前10時から午後6時までの入館者 午後6時以降の入館者	

専決処分

昭和村条例の一部を改正する条例

地方税法の改正に伴い、個人住民税、固定資産税、

特別土地保有税等について関係条項を改正。(承認)

昭和村民健康保険条例の一部を改正する条例

地方税法の改正による個

人住民税の公的年金控除の見直し及び高齢者控除の廃止に伴い、激変緩和の措置を講ずるなど。(承認)

平成17年度一般会計補正予算(第8号)

184万6千円減額

総額

42億6,904万7千円

村税、交付金等の確定に伴い過不足の調整を行ったもの。(承認)

平成17年度簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)

75万円減額

総額

1億2,447万7千円

配水管布設替え工事費の確定により一般会計からの繰入金を減額。(承認)

報告

繰越明許費繰越計算書について

子育て保育園改築工事補助金及び村道椽久保線道路改良工事につき繰越を行うもの。

常任委員会のおうどき

常任委員会構成を検討

次の一般選挙から議員定数が12人に削減されることから常任委員会構成及び所管事項について、各常任委員会で意見交換を行いました。3委員会とも常任委員会の活動は重要で、2委員会構成とすることが適当であり、所管事項については、今後検討を重ねていくことになりました。



千年の森スポーツセンター建設地を調査

総務常任委員会

6月9日に行われた総務常任委員会では、付託された請願・陳情

についての審査を行いました。

はじめに本年3月議

民生文教常任委員会

6月12日に行われた民生文教常任委員会では、付託された請願・陳情についての審査と意見交換を行いました。昭和村連合PTAからの地域内防犯に関する陳情については、子供の命が奪われる凶悪犯罪が全国各地で発生していることから、子



昭和村総合福祉センター内に設置された足湯

供が安全に安心して生活できるように、安全パトロール用マグネット式防犯ステッカーの購入は必要であると判断し、全会一致採択といたしました。

審査終了後、昭和村総合福祉センター及び子育て保育園の現地調査を行いました。福祉センターについては、子どもの遊び場や、足湯の設置、管内を禁煙にして、館外に喫煙場を設けるなど、利用者ニーズに配慮した新たな対策が講じられていました。子育て保育園で



資源ごみ、不燃ごみの保管分別施設

産業建設常任委員会

6月13日に行われた産業建設常任委員会では、付託された請願・

陳情についての審査を行いました。

ずさんな米国産牛肉



昭和の森ふれあい農園は1区画50㎡を年間3,000円で利用できます。

会定例会で継続審査となっていた路線バスの運行についての要望では、道路の幅員も狭く未舗装である現状と国有地であること。また、増額となる経費の問題もあり、村内すべてをくまなく運行することは難しい状況であることから、住民の方にも理解していただくことで、全会一致趣旨採択といたしました。

次に最低賃金の改善を求める陳情について

は、群馬県の最低賃金は、全国平均を下まわり関東地方でも一番安い現状であり、最低賃金が上がることによって、生活水準の向上も期待できることから、全会一致趣旨採択いたしました。

審査終了後、千年の森スポーツセンターサッカー場の建設状況及び昭和の森ふれあい農園の現地調査を行いました。

工事が無事完了し、子育て保育園では7月24日から新園舎での保育が始まりました。



子育て保育園舎工事現場を調査

は、プールのFRP(強化プラスチック)化や園庭の客土処理を行うなどの変更が生じたこと

とで工期が延長され、7月中の完成を目指しているとの報告がありました。

の輸入に抗議し、BSEの万全な対策を求める陳情については、検査体制が整っていない現状、住民の食の安全を守る必要性から、全会一致採択といたしました。

次に村道馬場小坂ノ上線の舗装整備の陳情については、地区住民の方が頻繁に利用されている道路であり、全会一致採択といたしました。

村道永井桜線道路改良工事の請願については、千年の森に通じる道路であり、現在千年の森スポーツセンターの建設も進められていることから、交通量の増加が予想されます。



公共物占用許可申請をしてください。

将来の開発計画を踏まえ、道路改良は必要であると判断し、全会一致採択といたしました。また、現地調査では、水路に鉄板が敷かれたり、ガードレールがはずされるなど無断で占用、使用されている状況の調査を行いました。溝蓋等個人の出入口の付帯設備については、個人で対応していただくこと。また、村に占用許可申請するよう指導していくことになりました。

このほか資源ごみ・不燃ごみの処理を委託している(有)昭和衛生社において、ごみの保管状況と分別施設の調査を行いました。

一般質問



高橋幸一郎 議員

昭和インター線と国道の直結を

問

平成10年3月定例会において、「国道17号バイパスの村誘致促進期成同盟の結成と昭和ICアクセス道路の国道までの延長が村の今後の課題である。」という質問に対し、当時の村長は「アクセス道路の取り付け道路である県道下久屋浜川線の交通渋滞緩和と村の発展のために国道17号バイパスができることは必要不可欠である。」と答えています。昭和インター線と国道17号を結ぶことは歴史的にも現実化しな

くはなりません。全国のアクセス道路は多くが国道と直結されており、歩道も含め安全対策が施されています。関屋工業団地の企業進出が決まり今後ますます交通量が増える森下赤城原線は、小学生の重要な通学路



昭和ICアクセス道路（昭和インター線）

答 村長

現在の状況を十分に把握した上で、問題解決のためにも実態を県に要望し、必要であれば県の道路整備計画の中に位置づけていただくようお願いをし、働きかけていく所存です。

景観に配慮した案内看板の設置を

問

農業観光協会、商工会等にスポンサーをお願いし、望郷ライン、農免道路の各交差点に、地区、名所、観光農園、事業所などを示す案内看板を設置することにより、村を訪れる人々に優しさを感じてもらえると思います。自立の農業の村であるとすれば、「村民の顔が見える施策」が重要と思うが。

答 村長

案内看板については、観光案内、住民の福祉、防災も含め全庁的に取り組みながら、「赤城高原やさしい王国」といった昭和のブランドをアピールできるよう、村民や来村者に役立つ効果的な案内看板を計画的に設置していきたいと思っています。

シニアタウン構想について

問

高齢化社会を迎え、高齢者の人口比率は現在の20%から、2014年には25%、2047年には35%を超えると言われ、多くの中高齢者にとって、精神的にも肉体的にも健康で、「安全に」「健康で」「生きがいをもって」自立できるように生活環境が求められると思います。昭和の森周辺を「シニアタウン構想」として位置付け、ゴルフ場、

答 村長

関屋工業団地に進出する企業の従業員や団塊世代の方々の定住化を図るため、住環境の整備を進め、「安心」「快適」「便利」な昭和村や自然景観等をアピールしていきたいと考えています。

ふれあい農園、千年の森等の活用により、より多くの方々の村への定住化を図る必要があると思うが。



林 幸司 議員

姿勢問題

固定資産税減免を

問 赤谷住民センターが32万円にもなる一方、7区は村有地で非課税、3区は法人認可で全額免除とは、公平・公正な対応が欠如している。公共的な施設は非課税とすべきでは。

答 村長

公共的な建物は課税していません。土地の一律非課税は所有者が異なり難しい。現状を十分に把握し、公益のために専用する住民センター用地の減免は検討します。

シルバー人材センター育成を

問 高齢者等の雇用安定法の趣旨から、

答 村長

村には援助、育成する責務がある。年々村発注の仕事が力ツトするのではなく増やし、企業などにも働きかけて仕事を確保していただきたい。

会員は設立時46名、現在23名。17年度村発注の作業従事率は約47・5%です。今後、団塊世代が定年期を迎え元気な高齢者が増加するので、引き続き支援します。

村長の退職金減額を

問 総理も退職金は多すぎると発言。知事は4年間で5100万円、村長は1227万円（全額

公費拠出で20カ月分）にもなる。職員と同じ（年1カ月）へ減額を求めます。

答 村長

給料は一定減額をした。地域や村のため最大限の努力をしてきた結果の手当であり、これからも一生懸命頑張ります。高い安いと聞かれ残念です。

第7分団詰所改築位置は

問 消防団第7分団の詰所建設予定地は、東小やスポーツ少年団関係者などに活用されているため、旧第一保育園舎の活用を含め、関係者の納得と合意が得られる位置に建設を求めます。

答 村長

旧第一保育園舎の活用は検討中です。詰所は消防委員会、地元分団等にはかり、旧第一保育園に隣接する村有地に建設する計画ですが、関係者に周知を図り工事に入りたいと考えています。

憲法・教育基本法に基づく教育行政を

問 愛国心評価通信表の改善と、全国一斉学力テストを実施しないよう求める。

答 教育長

愛国心通知表の3段階評価は適当でなく使用して

世界に誇れる教育基本法は全く改定する必要はないと考え、見解を問う。

ません。

全国一斉の問題点は、学校の比較や結果の公表です。本村は、県下一斉テストで県平均をやや上まわりましたが、全国的にはどの程度なのか知りたくなる。

現行教基法は大変優れていますが、現行指導要領で指導していることを明確化することは必要と理解しています。

[DATE . . .]

特別委員会から

昭和村総合開発対策特別委員会

6月15日開催

・千年の森スポーツセンターサッカー場について

第1期工事で建設が進められている、クラブハウス、宿泊棟などの工事概要の説明を受けました。

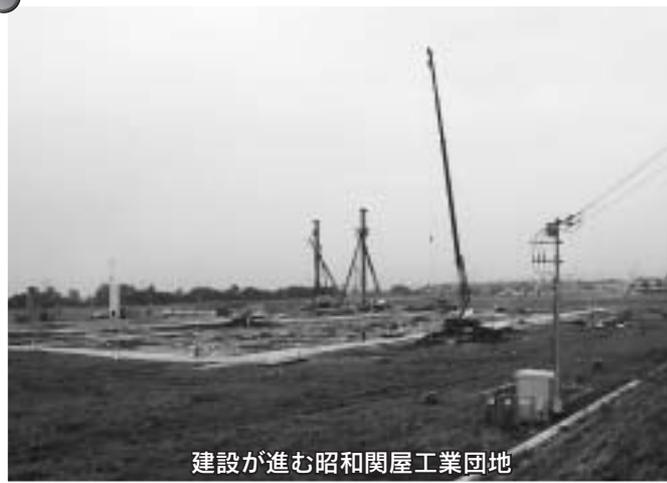
・しょうわORCサーキット場（仮称）の建設計画について

4月18日地権者総会が開催され、27名が出席したとの報告がありました。その後、6月21日付けて小倉クラッチ株式会社から、サーキット場構想断念が正式文書で報告されました。

・昭和関屋工業団地進出企業について

昭和インターチェンジに近い方から、味の素ファインテクノ株式会社（5万㎡）、藤森工業株式会社（6万6千㎡）、佐藤運送株式会社（1万9千㎡）という配置で企業進出が決まったとの報告がありました。

また、藤森工業沼田営業所長に、会社の概要と新工場について説明をお願いしました。関屋工業団地の新工場では偏光板保護フィルムや電子回路用半導体層間絶縁フィルムが製造され、環境に配慮した施設が整備されます。来春稼働予定で、140人規模の新規雇用が予定されています。



建設が進む昭和関屋工業団地

全員協議会から

昭和村総合福祉センター利用料金等の改定について

4月20日開催

入館料（4時間）		
村 内		
区分	入館料 （円）	宿泊料 （1泊2食付） （円）
70歳以上		
障害者半額優待者	200円	2000円
子供（4歳～小学生）		
一般（中学生～70歳）	400円	4000円
高齢一般（75歳以上）	300円	
7歳以下	無料	
村 外		

福祉センター（昭和の湯）については、4月1日から昭和村社会福祉協議会を指定管理者として指定しました。

料金改定について福祉センター運営委員会で協議した経過報告があり、村内70歳以上の方などの料金を100円から300円にしたとの提案がありましたが、協議の中で300円とするのは高すぎるとの意見が大勢を占め、200円にして、6月1日から実施することで意見がまとまりました。

また、平日の開館時間を午後8時までとすることについては、不都合が生じた場合には再検討することになりました。

路線バスの運行委託について

6月8日開催

路線バスの運行については、利用者の減少などにより運行費の村の持ち出しが増えている状況から、経費削減のため、関越交通（株）と大新東（株）の2社から提案された見直し案について協議いたしました。

村内統一料金にすべき、バスの買い替えによる購入費の問題、直営バスの運行、コストより安心安全が大切など、いろいろな意見がだされましたが、結果として、関越交通（株）に引き続き委託することに全員賛成で決まりました。また、利用する時間帯などのアンケート調査を実施するとの報告がありました。

[DATE . . .]

その他のうごき

道路愛護巡視

5月12日開催

産業建設常任委員会による春の道路愛護巡視が行われ、村内各地区の道路状況や村道永井中野線（中野地区）及び森下松原地区のU字溝が土砂で埋まっている箇所などの現地調査を行いました。

その後の意見交換では、U字溝が土砂で埋まっている箇所の調査と砂上げの経費について詳しく試算し、今後検討していくことになりました。



敬老会

5月22日開催

第33回敬老会が昭和村公民館において開催され、議員も全員出席して、ダイヤモンド婚、金婚、傘寿を迎えられた皆さんの長寿をお祝いさせていただきました。これからも健康に気を付けてご活躍いただきたいと思ひます。

ホワイトマウンテン中学校の生徒たちと夕食会を開催

6月22日開催

昨年5月、議会がアメリカ・イーグルポイント市を表敬訪問した際に交流のあったホワイトマウンテン中学校のこんにちはクラブの生徒たちが来村。昭和の森山荘に招待して夕食会を開催しました。ことばは通じなくとも気持ちは通じたのか、生徒たちの顔からは笑顔がこぼれ、楽しいひとときを過ごすことができました。

イーグルポイント市とは、昨年から国際姉妹都市になっています。



シンポジウム「地域文化をまもり、地域で生きる」

6月25日開催



NPO法人主催によるシンポジウムが、約60人が参加して昭和の森山荘で開催されました。議員も参加して、本村に残る文化、地域経済を見つめ直す機会といたしました。本村には大規模な養蚕民家が数多く残っており、集落や伝統的な景観にも富んでいることから保存していくべきであるという意見や、心をいやすことはできるが生活実態を考えると保存は難しいなどの意見がありました。

議会運営委員会 川場村議会を視察

6月2日開催

次の一般選挙から議員定数が4人減の12人になることから、当委員会は、議員定数が現在12人で3委員会構成である川場村議会を視察し、現状把握をするため、委員会構成及び所管事項について意見交換を行いました。今後、検討していく上で参考になりました。

他町村の状況を見ましても議員定数12人から14人では、ほとんどが2委員会という状況であります。

また、6月議会定例会の各常任委員会の中で、委員会構成等検討することになりました。



澤浦議長が利根郡町村議会議長会長に就任

5月15日、澤浦誉由議長が利根郡町村議会議長会長に就任しました。

オホ 議会視察研修報告

6月28日から30日までの3日間、3常任委員会合同の視察研修を北海道上川郡新得町及び斜里郡清里町において行いました。



北海道のまん中（重心）に位置し、美しく雄々しい東大雪の山々と日高山脈に抱かれた豊かな自然があふれる。

人口	約7,200人	面積	1,063.79km ²
農家戸数	124戸	耕地面積	4,723 [㍊]
農業生産高	90億円		(平成17年度)

清里町

北海道東部、知床半島のつけ根に位置し、ヨーロッパの農村景観を思わせるような広大な畑地が美しく広がる。

人口	約4,900人	面積	402.73km ²
農家戸数	243戸	耕地面積	9,228 [㍊]
農業生産高	90億円		(平成17年度)

平洋



自主自立に向けた取り組みについて視察

新得町は合併しないで自主自立の町づくりに取り組んでおり、昨秋、本村議会に視察に訪れています。

明治32年に山形県等からの集団入植で開拓してできた町で、北海道のど真ん中に位置し、東大雪の山々と日高山脈に抱かれた自然あふれる町であり、その自然を活かして、合併しない元気な町づくりに取り組んでいます。面積は東京都の約2分の1、人口は昭和村よりやや少ない。そんな広い町で集い合い、支え合い、育て合う自然豊かな町づくりをテーマとして、町民が主役の町づくりを進めています。こうした経緯には、市町村合併の話が国や県から出された時、いち早く職員による庁内行政課

題研究会を立ち上げ、合併した場合と合併せずに町を存続させた場合のそれぞれについて研究・検討されたそうです。そうした中で、議会、行政、住民と話し合い、2町での合併が合意されましたが、その後の調整で、合併しない町づくりを選択しました。国の三位一体改革スタートで地方財政はますます厳しさを増す中で、無料で貸し出している公共施設を有料化するなど、あらゆる見直しをしていかなければならない。また、若者の就業の場の確保として、企業誘致に取り組みでいきたいとのこと。北海道では高速道路の整備が進められており、新得町においてもインターチェンジの誘致を進めているが規制が多く難しい状態であるとのこと。研修で学んだことを活かして、明るく住み良い村づくりに努めたいと思います。

総務常任委員会

村の大きな財産である自然と工業団地を最も有効に活用することこそ、村の生き方と思われます。

(農業は言うに及ばず。)



キヤノン電子（株）
専務取締役 駒橋正敏さん

聞きたい、知りたい

みんなの
声

進出して 関屋工業団地に

関越道上り車線、沼田ICを過ぎ片品川を渡った所で携帯電話が鳴った。昭和関屋工業団地の情報を知らせる内容であった。1997年12月10日（水）午前11時頃の事である。詳細は割愛するが、奇しくも昭和村さんとの御縁ができた瞬間である。当時我社では、新規事業に絡んで工場建設用地を探しており、その進出先が決まりかけていた時である。その候補地は「新潟県西山町か大和町」のいずれかであった（その後の自然災害を思えば、運命とは計り難いものである）。その後正式に関屋進出が決まり、準備のために訪村し村内を歩き回った。

東京近郊に、このように自然に恵まれたすばらしい所があるのか、まるで北海道ではないかと思わせる大規模農業、谷川岳、武尊山と農免道路から眺める風景、それこそ北海道そのものであった。ナイスビューである。工場建設はこの自然環境を十

分考慮したものでなければならぬと建設コンセプトの重要課題の一つに掲げた。それが、「赤城の自然環境とマッチして21世紀環境保証時代を…」となったものである。

以来約8年、進出目的の達成と地域への貢献とを念頭に努力し続けている。ただ、製造業の厳しい環境下で、当初の計画どおり進行できていないのが残念である。また、この間、村を始め地域の方々に多大の応援を頂戴してきたのは言うまでもない。先頃まで平成の大合併が続く中、村が選択した自主独立への道。前述の村が所有する諸財産を有効に活用し、村民が一致協力、努力すれば経営が成り立つとのことであろう。賢明な選択だと思います。我々企業も設立の志を果してこそ、村に貢献できるものである。幸い、長年望んでいた新規企業進出も決まり、近々開業の予定。進出企業同志が協力し村に貢献できる日も間近である。また、関屋工業団地が地域社会に歓迎される団地として、さらには地域の人々と共有できる「インダストリーグリーンパーク」として完成するよう努力するものである。



キヤノン電子（株）赤城工場



昭和村と共に



特別養護老人ホーム菜の花館
施設長 西松陽子さん

特別養護老人ホーム「菜の花館」がオープンしたのは平成17年8月、緑濃い盛夏のことです。菜の花館に先駆けて村立第一保育園が1年前にすでにオープンしていましたが、同じ敷地内に特別養護老人ホーム設立という願ってもない好条件下でスタートできたのは何ともうれしいことでした。子供たちの声が聞こえ、窓

越しに姿が見えるのは、どんな優秀な介護術も及ばないくらいお年寄りに力を与えるものです。現に、開設後何回かジョイントした催し物を行いました。子供たちの姿を見ると自然と笑顔になり、そのうち感極まって涙ぐむ入居者も多いのです。

菜の花館の入居定員は50名ですが、そのうち十数名の方が昭和村の方でいらつしやいます。介護保険の特別養護老人ホーム特例として住所地を施設に移すことができるのですが、その理由だけでなく昭和村の方が多いのは、この地で望まれた施設だったと考えています。

菜の花館では、地元の方との親睦を深めたり、地域と密接に連携することを目的にして「地域交流スペース」を設けました。ここでは、歌や踊りなどの各種催し物や、ご家族も含めた「ひなまつり」「お花見」などの行事を開催しています。また、テイクアウトには喫茶コーナーで紅茶やコーヒーを入れて入居者の皆様に楽しんでいただいています。さらに昭和村特産品の販売をしたり、趣味の教室などに有効利用していただけたらと考えています。地域の中で地元の方とともに暮らすことが高齢者の幸せと確信し、昭和村と今以上に深いつながりができることを願っています。

みなさんからの請願・陳情

自 平成17年12月1日 至 平成18年6月1日

受理番号	受理年月日	件名	陳情者の住所・氏名	紹介議員名	付託委員会	審議結果
119	H17.12.1	要望書 路線バスの運行について	追分区長 生方一之助		総務	趣旨採択
123	H18.5.19	最低賃金の改善を求める陳情	群馬県労働組合会議 議長 吉崎照二見		総務	趣旨採択
124	H18.5.22	昭和村連合PTAより地域内防犯に関する陳情書	昭和村立南小学校PTA 会長 綿貫 利彦 外3名	金井 正夫	民文	採択
125	H18.5.23 (郵送受付)	安全・安心の医療と看護の実現のため医師・看護師等の増員を求める陳情書	群馬県医療労働組合連合会執行委員長 阿久澤 隆			配布のみ
126	H18.5.26	「ずさんな米国産牛肉の輸入に抗議し、BSEの万全な対策を求める」陳情書	食とみどり、水を守る群馬県民会議 議長 坂本 棟男		産建	採択
127	H18.5.30	陳情書 村道番場小坂ノ上線舗装整備のお願いについて	田岸区長 杉木哲二 外3名	横坂 幸也 幸司	産建	採択
128	H18.6.1	請願書 村道永井桜線道路改良工事のお願いについて	松ノ木平第二区長 塚本 作治 外1名	古澤 昇	産建	採択

このページは、村民皆様の声を聞くコーナーです。声をお寄せください。議会事務局 (☎24-5111) まで

親子で知事さんの話を聞く会



昭和村PTA連絡協議会
会長 綿貫 利彦さん

7月5日、南小学校に小寺弘之群馬県知事を迎え講演会を開催しました。

参加した村内の親子に、知事としての「思い」や政治家としての「志」を飾らずに話してくださいました。子供たちの純粹でストレートな質問に、しかも真剣に『そといじめは絶対駄目!!』などと回答してくれた知事がとても印象的で、親しみを感じました。

知事と密度の濃い時間を過ごした子供たちも、保護者にとっても大変よい経験となりました。こんな貴重な時間を共有できたので、私たちが住民もファイトを出して群馬県中に「昭和村は元気だ!」というメッセージをもっともつと発信してゆきましょう。

議会の動き

4月

- 5日 ● 第一保育園・第二保育園・子育保育園入園式
- 7日 ● 昭和中学校入学式
● 東小学校・南小学校・大河原小学校入学式
● 大河原学童クラブ開所式
- 17日 ● 議会広報編集特別委員会
- 18日 ● 千年の森スポーツセンター起工式・安全祈願祭
● 昭和村在宅重度心身障害者デイサービスセンター「燦」開所式

- 20日 ● 議会全員協議会
● 第23回昭和村議会臨時会

- 21日 ● 村民ゴルフ大会

5月

- 12日 ● 春の道路愛護巡視
- 22日 ● 昭和村敬老会
- 23日~24日 ● 全国町村議会議長・副議長研修会
- 28日 ● 群馬県民スポーツ祭オープニング大会
- 31日~1日 ● 議長・議会事務局長研修会

6月

- 2日 ● 議会運営委員会
● 川場村議会視察
- 4日 ● 利根沼田消防ポンプ操法競技会
- 8日~15日 ● 第24回昭和村議会定例会
- 22日 ● 議会広報編集特別委員会
● 国際交流事業に伴う夕食会
- 25日 ● シンポジウム「地域文化をまもり地域で生きる」
- 28日~30日 ● 議会視察研修 (北海道新得町・清里町)

編集室から

こんにくの生産日本一を誇る昭和村も、その植付けが終わる、野菜畑では収穫と植付けとが繰り返され始めました。

長期にわたる景気低迷の中、関屋工業団地に3社の進出が決まったことや、サッカー場の建設が行われることは大変喜ばしいことであり、若者が村に残れる村づくりの方向が見えた気がします。

利根沼田地域の合併を見ると、メリットはあまり聞かれず、デメリットばかりが耳に入り、1つになる苦勞を痛感いたします。昭和村のことを思いながら、これからの広域行政の課題と向き合っていきたい。同じ生活圏の中で各地域の役割を明確にして、和をもって決めていかねばならないと思うのです。

少子高齢化の進行と地方分権の推進の中、村民の暮らしを守りながら、村民の知恵と理解を得て進まなければならないと思います。

石井清司 記